



研究活動一覧

「研究活動一覧」は当所研究員の研究活動と研究内容や関心分野を読者の皆様にタイムリーに提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては直接担当研究員までお問い合わせ下さい。

【研究論文および商業誌記事等】

研究員名	表 題	発表誌，巻・号	発表年月
足立恭一郎	韓国農政のパラダイム転換	農業情報 533	2002. 5
〃	資料でたどる韓国の親環境農業政策——U R 農業合意後の展開——	農林水産政策研究所ディスカッションペーパー 1	2002. 5
石井圭一	国民ニーズに適う農業経営構想に向けて——ヨーロッパにおける農業経営所得と補助金——	月刊 JA 5月号(567)	2002. 5
〃	フランス農政における地域と環境	農業共済新聞『自著を語る』5月15日	2002. 5
〃	農業環境政策と経営補助金	全国農業新聞『農声』6月28日	2002. 6
市田知子	Farm Women and Gender Issue in Japan: A Historical Approach	The Roles and Empowerment of Rural Women in Food Security (Japan FAO Association)	2002. 5
嘉田良平	畜産環境問題と有機資源リサイクルの課題	科学研究費補助金研究成果報告書平成13年度(代表 千賀裕太郎)	2002. 3
〃	世界の食料——先進国と途上国のそれぞれの課題——	生活協同組合研究 316	2002. 5
〃	21世紀の食生活を考える——環境保全型農業からスローフードまで——	食生活 96	2002. 6
香月敏孝	国内野菜産地の対応課題——ねぎ作を中心に——	日本農業市場学会報告要旨 2002年度大会	2002. 6
合田素行	デンマークにおけるバイオガスの利用状況と今後の展開——エネルギー政策のもとで実績をあげる先進国——	畜産コンサルタント 38(6)	2002. 6
〃	(書評) 農業の環境評価分析	農林水産図書資料月報 53(6)	2002. 6
小林茂典	消費者ニーズの把握と用途別需要への対応——茨城経済連による「イタリアントマト」生産・供給の取り組み——	農流技研会報 250	2002. 4
篠原 孝	けもの道と土壌固化	ひまわり(日農工会報)	2002. 4
〃	「自然の資源」で生きていく	きなり(首都圏コープ)	2002. 4
〃	21世紀を支える第1次産業——形態による限界と将来性——	公庫月報 4月号	2002. 4
〃	農林10月号(ノーリンテン)とWTO農業協定	月刊技術会議 4月号	2002. 4

研究員名	表 題	発表誌，巻・号	発表年月
篠原 孝	ボーダレスで高まる警戒	読売新聞 4月1日	2002. 4
"	研究開発・技術行政の役務——不可欠な研究と行政の人事交流——	農林水産技術研究ジャーナル 5月号	2002. 5
"	日本には「循環型酪農」しか存在できず	酪農ジャーナル 6月号	2002. 6
"	日本の「フード・マイレージ」は世界一	生活と自活 6月号	2002. 6
双 喜	内蒙古草原牧畜業の過放牧の起因と過放牧の抑制策	農業経営研究 40(1)	2002. 6
千葉 修	産業組合	大月金融事典（大月書店）	2002. 4
中田哲也	「フード・マイレージ」の試算について	日本フードシステム学会大会報告要旨 2002 年度	2002. 6
野部公一	未完の農業改革——民有化・価格自由化でも生産伸びず——	現代ロシアを知るための 55 章（下斗米伸夫・島田博編著，明石書店）	2002. 6
福田竜一	総合農協経営の生産性変化の計測	農業経営研究 40(1)	2002. 6
藤栄 剛（共著）	個別酪農家における堆肥供給行動の規定要因	農業経営研究 40(1)	2002. 6
藤栄 剛	農地の利用調整過程における農家行動——農地利用調整組織の利用決定要因を中心として——	農業経営研究 40(1)	2002. 6
松久 勉	農業労働力と農家世帯員の動向	2000 年センサス総合分析報告書（農業編，農林統計協会）	2002. 3
"	38. 酪農継続意志，39. 5年後の目標，40. 酪農中止理由	酪農全国基礎調査報告書 平成 13 年度（中央酪農会議）	2002. 3
水野正己（共著）	戦後日本の生活改善にみる参加型開発	国際開発学会特別研究集会報告論文集 第3回	2002. 6
薬師寺哲郎	自主流通米の価格形成と計画外流通米との競争	日本フードシステム学会大会報告要旨 2002 年度	2002. 6
吉井邦恒	農業収入・所得の安定化に資する政策の実践——アメリカおよびカナダにおける農業経営所得安定対策——	月刊 JA 5月号(567)	2002. 5
"	アメリカ新農業法（上，中，下）	農業共済新聞 6月5日，6月12日，6月19日	2002. 6
吉田泰治	産業連関論によるフードシステムの分析	フードシステム学の理論と体系（フードシステム学全集 1，高橋正郎・斎藤修編，農林統計協会）	2002. 4
渡部靖夫	（書評）グローバル化を生きる日本農業	農林水産図書資料月報 53(5)	2002. 5

【口頭発表および講演】

講演者	講演名	講演会名	発表年月日
足立恭一郎	韓国の親環境農業について	農政水産部門一般研修 平成 14 年度（滋賀県農政水産部）	2002. 5.28
嘉田良平	地域循環と新時代の農業	食と農に黙ってられない東北集会 第 16 回（全農林東北支部）	2002. 5.30
香月敏孝	野菜農業の生産構造—— 2000 年農業センサス分析を中心に——	関東東海経営部会春季研究会（中央農業総合研究センター）	2002. 6. 6
合田素行	環境費用便益分析	JICA 集団研修	2002. 6.28
篠原 孝	農都共生	農都共生協議会	2002. 4.18
〃	地産地消・旬産旬消	島根県県議会	2002. 5.15
〃	農的循環社会への道	全国農業高校校長会	2002. 5.27
〃	21 世紀の食料・環境・ふるさと	長野県地球人会議	2002. 5.28
〃	WTO 農業交渉と新しい農政の展開	愛媛大学農学部	2002. 5.31
〃	農的循環社会への道	みどり会議	2002. 6. 5
〃	海と陸の物質循環から 21 世紀世界経済システムを構築する	海と人とのシステム研究会	2002. 6. 7
〃	多面的機能と農政	日本農学アカデミーシンポジウム	2002. 6. 8
〃	農的循環社会	新潟県総合生協	2002. 6. 9
〃	多様な農業の共存	日中国交正常化 30 周年記念農業シンポジウム	2002. 6.27
矢部光保・吉田謙太郎 ほか	英国における食品安全性と表示に関する消費者選好——遺伝子組換え農産物に関する潜在分類モデルによる選択実験——	日本農業経済学大会個別報告	2002. 3.31